

日本海ケーブルネットワーク株式会社 (NCN)

2020 年度放送番組審議会議事録

新型コロナ感染拡大防止の観点から番組審議会の開催に代わり審議委員へ
2020 年度の取り組み (DVD 同封) と 2021 年度の基本方針を送付し、ご意見
・ ご感想を返信していただいた。

■ 送付日：2021年2月5日 (金)

■ 審議委員

河村壮一郎 (会長、鳥取短期大学 教授)、佐々木千代子 (副会長、いんしゅう鹿野まちづくり協議会理事長)、山根寿彦 (鳥取市情報政策課長)、内川啓二 (倉吉市企画産業部企画課長)、青木大雄 (三朝町企画課長)、松野洋平 (岩美町総務課主事=代理出席)、福田京子 (地域づくりネットワーク代表)、藤井博美 (三朝区長)、須田耕平 (鳥取銀行本店経営統括部企画グループ調査役)、中沢政春 (岩美まちづくりの会 企画部副部長)

2020 年度の取り組みについて (DVD)

- ・ コロナ禍で色々と制約のある中、地域の公共放送として精力的に取材、番組企画に
取り組んでいた。
- ・ 県のコロナ感染症対策本部会議の生中継や感染防止にかかわる啓発など、タイムリーな対応を取られていた。
- ・ 卒業式、高校紹介、スポーツ大会、文化部発表など、特によかった。
- ・ 卒業式特集は、出席者数が制限されるなか、児童・生徒の親族ほか地域に対して子どもたちの節目を映像で届けることは、有意義であった。
- ・ 新型コロナウイルス感染症予防緊急講演会の DVD 配布は小中学校の感染症対策に資するものだった。
- ・ コロナ禍のような刻々と事象が変化する事態で、情報の信頼性の高いケーブルテレビの情報は各家庭にとって大変重要であると考えます。
- ・ 学生のスポーツ・文化に関する大会・イベントの情報発信はコロナ禍で無観客となっているため、ケーブルテレビで地域に向けて情報発信し続けていくことの意義は大きい。

2021年度の基本方針について（NCN）

2020年度はコロナ禍で通常の番組制作が制限される中、県のコロナ対策本部会議の中継をはじめ様々な取り組みを行ってきました。2021年度も引き続き新型コロナが番組制作に大きな影響を与えることが想定されます。NCNでは引き続き、市民の安心・安全につながる情報を視聴者にいち早く届けることに重点に番組制作を行ってまいります。また、無観客で、あるいは入場を制限して行われるスポーツ・文化イベント、祭りなど地域を応援・活性化の一助となるような番組制作に組みます。

<2021年度の取り組みについてのご意見>

- ・一つの情報を活用し、発信媒体の多様化を図り、いつでも、どこでも、だれでも、情報に触れることが出来るような取り組みをしてほしい。
- ・各種イベントを応援し、再開に向けて地域が盛り上がるような番組作りに期待する。
- ・視聴者投稿番組は、飾らない番組として非常に面白いので積極的に進めてほしい。
- ・地域の放送局ならではの、地域密着の番組作りを希望。
- ・新型コロナ対応の特集、または週ごとにテーマを変えて医療関係者の注意・喚起や指導、助言を頂けるコロナ関連番組は出来ないか。
- ・入場制限・無観客のスポーツ・文化イベント、学校行事や祭り等の地域イベントに取り組んでほしい。
- ・一日に何度も繰り返し放映してほしい。それがケーブルTVの強みの一つ。
- ・映像アーカイブとしての役割を果たしてほしい。